

## 1. 流域の概要

### 1.1 河川・流域の概要

揖保川は、その源を兵庫県宍粟市藤無山(標高 1,139m)に発し、山間部を流下し宍粟市曲里地先で引原川と合流した後、伊沢川、菅野川、栗栖川などを合わせて播州平野を流下し、さらに林田川と合流した後河口付近で中川を分派し、姫路市網干区で瀬戸内海播磨灘に注ぐ幹川流路延長 70km、流域面積 810km<sup>2</sup> の一級河川である。

その流域は、たつの市をはじめとする 3 市 2 町からなり、土地利用は山地が 84%、農地が 11%、宅地等市街地が 5% となっている。

流域内の交通としては、山陽新幹線、JR 山陽本線、JR 姫新線などの鉄道や、山陽自動車道、中国縦貫自動車道、国道 2 号、250 号、太子竜野バイパスなどの道路が揖保川を横断しているとともに、国道 29 号が揖保川沿いに兵庫県を縦断している。また、河口部の姫路港は特定重要港湾に指定されており、本流域は陸海交通の要衝となっている。臨海部は播磨工業地帯の一郭として鉄鋼、化学などの重化学工業が集積しているほか、沿川ではうすくち醤油、手延べ素麺、播州皮革などの揖保川の清流や伏流水に依存した地場産業が盛んである。

流域は「瀬戸内海国立公園」に隣接し、「氷ノ山後山那岐山国定公園」をはじめ三つの県立自然公園が指定され、豊かな自然景観を呈している。龍野は城下町として栄え歴史文化遺産をとどめており「播磨の小京都」と呼ばれているほか、童謡「赤とんぼ」に因み「童謡の里」として文化情報発信地となっている。

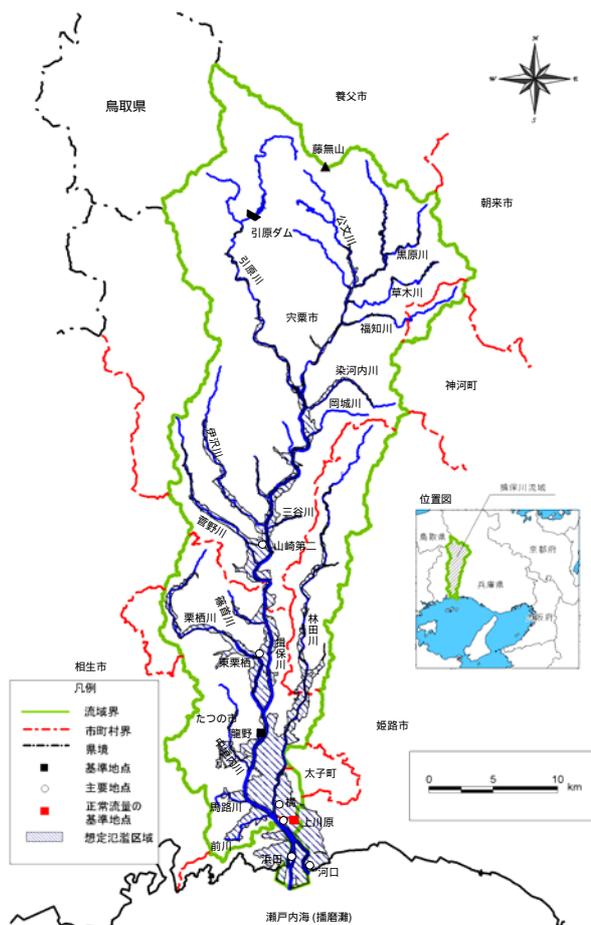


図 - 1.1 揖保川流域図

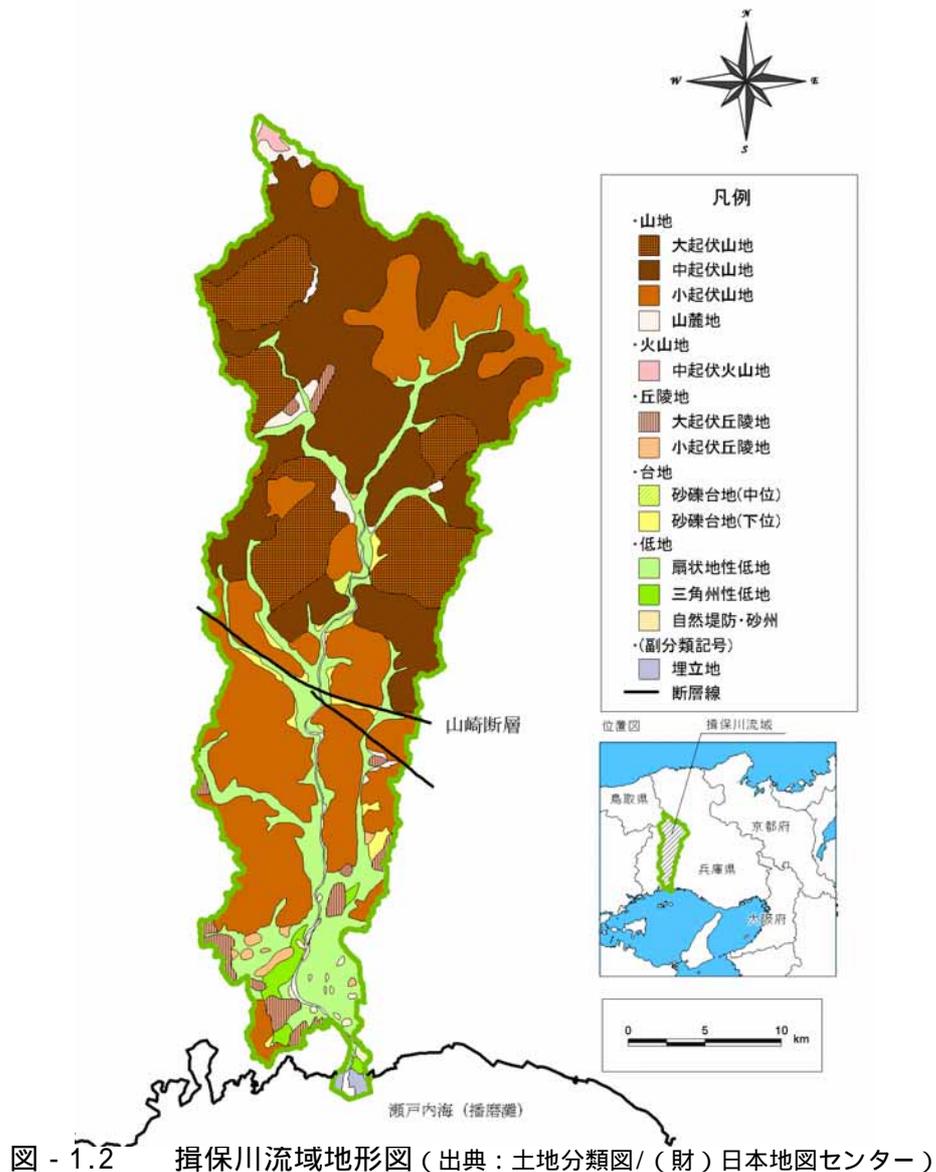
表 - 1.1 流域の諸元

項目	諸元	備考
幹線流路延長	70km	全国74位
流域面積	810km <sup>2</sup>	全国76位
流域市町	3市2町	ひめじ 姫路市, たつの市, 宍粟市 たいし 太子町, 神河町
流域内人口	約15万人	
支川数	47	

## 1.2 地形

揖保川流域は南北に細長い形状となっており、上流部に広がる急峻な山地部と下流部に広がる播州平野に大別できる。

山地は宍粟市山崎町付近を北西 南東に延びる山崎断層を境に、上流部は中国山地東縁をなす大～中起伏の播但山地（標高 500～1,000m）、下流部は吉備高原東端の小起伏の西播山地（標高 300～500m）に分けられており、これらの山頂部付近には隆起準平原の名残と考えられる平坦面が残っている。西播山地の南麓には西播丘陵と称される標高 300m 以下の丘陵群が播磨低地の中に島状で点在している。播磨低地は揖保川の上流部では狭長な谷底平野をなし、周囲に狭小な台地（段丘）を伴っていることがある。下流部では、旧流路が埋没谷として埋め立てられて、分布が広がり、最下流部には三角洲が形成され、たつの市龍野から下流では播州平野と称される沖積低地の西端域をなしている。



### 1.3 地質

揖保川流域の地質は白亜紀～古第三紀の流紋岩類を主体とするが、上流部には安山岩類も多く認められる。これら以外の地質として、上流部には主として二畳紀の舞鶴層群の泥質岩と白亜紀～古第三紀の花崗岩類が分布している。下流部では山崎断層付近から下流で、舞鶴層群の泥質岩と砂質岩が主体をなしている。

揖保川沿いには、上流部では沖積層が狭長に認められ、下流部では沖積層が広く、厚く分布し、沖積平野を形成している。

本地域の特異な現象として、山崎断層が挙げられる。本断層は、西から大原断層・土丹断層・安富断層・暮坂峠断層・琵琶甲断層・三木断層の6つから構成され、三木市～岡山県大原町に約70km 延びる活断層（确实度、活動度B、左横ずれ）である。

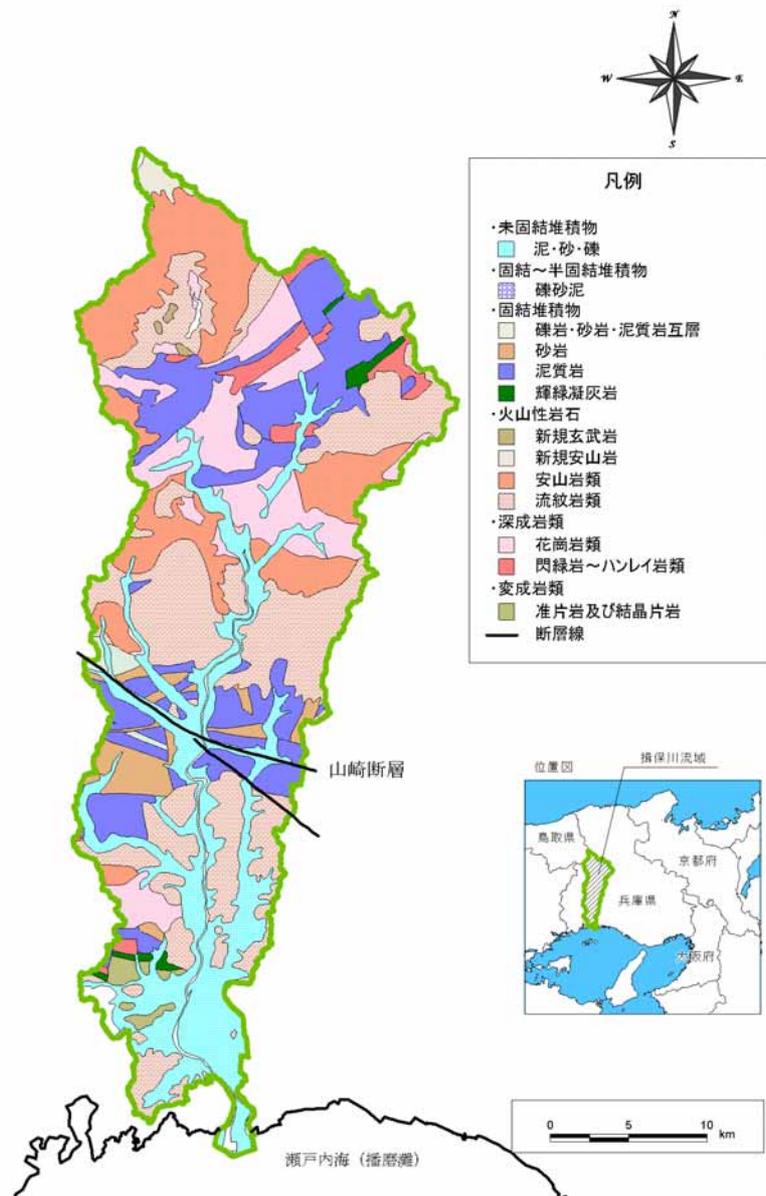


図 - 1.3 揖保川流域地質図（出典：土地分類図/（財）日本地図センター）

#### 1.4 気候・気象

揖保川流域は、上流部は中国山地、下流部は瀬戸内海に面した平野、丘陵により成り立っている。このため、流域の降水量、気温は大きく分けて上流部と中・下流部の2つに分かれる。流域の年間降水量は、上流部では約2,200mmと多く、中流部は約1,700mm、下流部では約1,400mmと少ない瀬戸内海型気候となっている。

気温については、流域近傍の姫路測候所を対象にみると、8月（月平均気温約27℃）が最も高く、1月（月平均気温約4℃）が最も低い状況となっており、12月～3月の月平均気温は10℃以下である。

また、瀬戸内海に面している沿岸地域では盛夏に「朝凧<sup>あさなぎ</sup>」、「夕凧<sup>ゆうなぎ</sup>」の特異な現象がみられる。

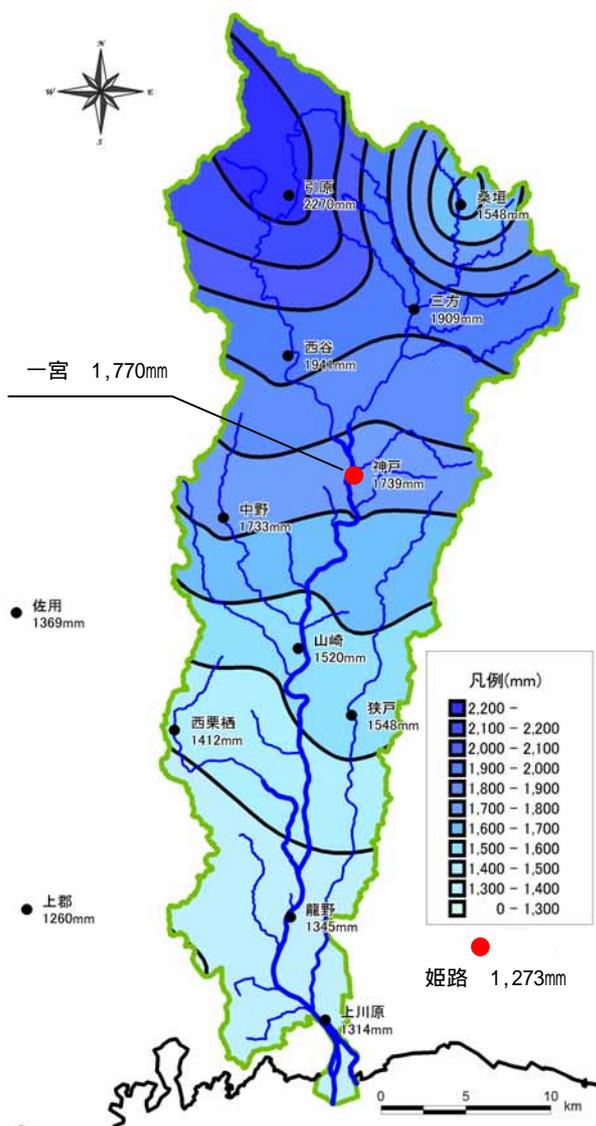


図 - 1.4 揖保川流域年平均等雨量線 (S46年～H12年平均)

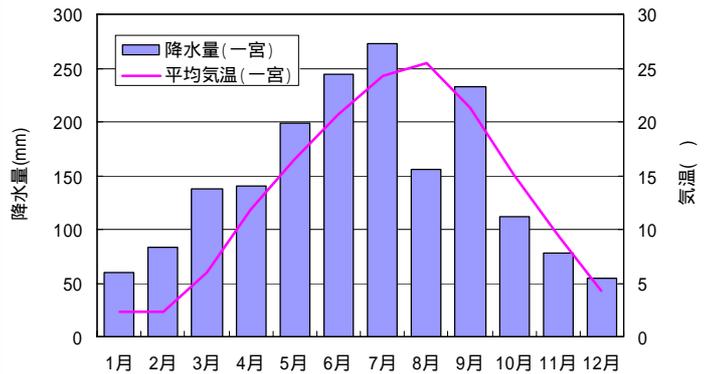


図 - 1.5(2) 一宮 月別平均降水量・気温 (S54年～H12年平均)

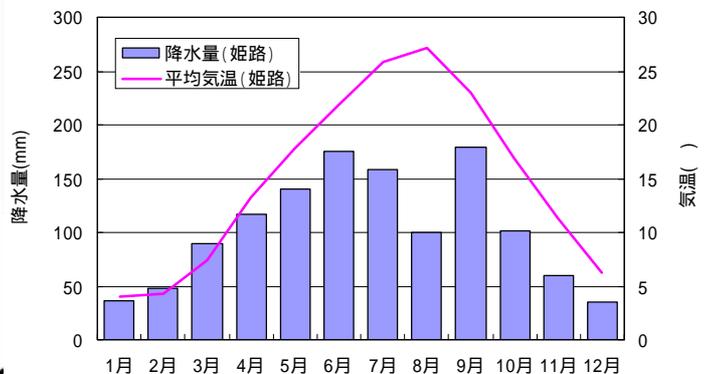


図 - 1.5(2) 姫路 月別平均降水量・気温 (S46年～H12年平均)

出典：気象庁